



本町ほのぼのだより 第34号

発行：中野区立本町図書館 中野区本町2丁目13番2号 TEL 03-3373-1666

発行年月日：平成28年12月23日 第34号

第34回 本町図書館 個性づくりテーマ展示

墨の芸術—禅と水墨画—

本町図書館では、『文化・芸術・芸能』に関する資料を、絵画や音楽、工芸、伝統芸能など幅広い分野にわたって収集・展示をしております。

第34回目となる今回は、「墨の芸術」と題して、「水墨画」をテーマにした展示をお届けします。

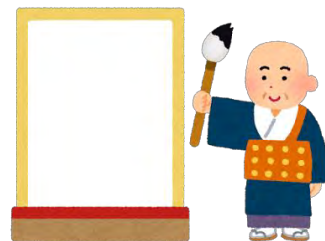
水墨画というと、皆さんどのようなイメージをお持ちでしょうか？高尚な日本芸術だけれどとつきにくい、という方もいると思います。しかし、実際は墨と筆、紙があれば、誰でもできるものです。

水墨画は、禅宗と深いかわりがありました。禅宗の教えを描いたものを「禅画」と呼びますが、ほとんど水墨画の技術で描かれていました。禅宗が広まると、水墨画も広まりました。

最近、心静かに精神を保つ「禅」の精神が注目されています。海外でも「落ち着いた/静かな」ものを示すのに「ZEN」という言葉が広がっています。

今回は、「禅」の思想と共に日本に根付いた芸術「水墨画」を紹介したいと思います。

年賀状、寒中見舞いを出すことが多くなる季節、奥深い墨絵の世界を知って、一度筆を持ってみてはいかがでしょうか？



展示場所：本町図書館 2階書架

展示期間：平成28年12月23日(金) ～ 平成29年2月23日(木)

※ 展示資料は貸出もできます。

禅とは

仏教の修行法の一つで、瞑想や坐禅により精神を集中させることです。インドの「静かに考える」という意味の「ディヤーナ」が中国に伝わり、「禅」となりました。

水墨画とは

墨の濃淡によって描かれた絵画のことをいいます。禅の教えを伝えるために、水墨画が作成されました。中国の宋の時代に盛んになり、鎌倉時代に禅宗とともに日本に伝わりました。室町時代には山水画や花鳥画が隆盛し、じよせつ しゅうぶん如拙や周文などの画僧により数多く制作されました。

水墨画の歴史

水墨画は中国にもある絵画表現ですが、どのようにして水墨画が日本独自のスタイルを確立してきたのか、水墨画の歴史を紹介します。

鎌倉時代

日本に禅の教えを持ち込んだのは、らんげいどうりやう蘭溪道隆やむがくそげん無学祖元など生粋の中国人でした。時の権力者である北条氏は戦が終わり、より権力を強めるために文化や宗教の面に力をいれ始めます。そこで、中国から蘭溪道隆や無学祖元のような僧を呼び寄せました。教えを授けるにはうぶさ頂相という肖像画や仏画も必要になります。寺院に絵画工房ができるようになり、水墨画を専門に描く人が増えていきました。



南北朝時代

禅宗寺院だけでなく、大名たちの間で唐物が流行したのも水墨画が広まる原因となりました。唐物とは、中国や朝鮮で作られたものをさします。大陸から輸入される絵画や陶磁器はとても高価で珍重されました。高尚な趣味のために、中国から日本に書画や陶磁器などの美術品が競って買い集められました。



室町時代

足利氏が権力を握ったあとも禅宗寺院が宗教、文化の骨組みとなりました。時の権力と結び付き、宗教への純粋さは失われる一方で、文化の面はさらに高められていきました。僧侶たちは中国の文人の生活に憧れ、詩や書画に耽りつつありました。文人趣味を持つ大名や僧侶が集まり、詩や書画を楽しむ場も生まれました。



応仁の乱

1467年に起きた守護大名たちの権力争いによって、文化は大きく変わりました。文化の中心京都は戦争をしているので、地方で発展せざるを得なくなります。大内氏の本拠地山口は京都を模した町づくりをし、禅僧達の雅遊の場となりました。水墨画で名高い雪舟も、山口で大内氏に仕えていました。やがて雪舟の評価が高まり、画家たちは描き方を中国風ではなく、雪舟を模範とするようになります。



応仁の乱から戦国時代

足利氏の権力が失墜したことで禅宗寺院は力を失います。文化の担い手は市民や商人、製造業に入れ替わりました。特に狩野派は将軍家への障子や屏風の他に、市井で売られる扇など日用品にも技術を活かしました。極彩色の絵巻から水墨画まで描き、和風と中国風と今まで別物と考えられていた画風を統合することで、水墨画の題材や技法も豊かなものになりました。



安土桃山時代

織田信長や豊臣秀吉の天下になると、城の広大な壁面や何百枚もの襖が作品の舞台となりました。やがて戦国時代の末期になると地方に散っていた大名たちが京都に集まるようになり、また文化は都に一極集中の時代になります。こうして水墨画は中国風の真似ではなく、独自のものへと発展していきました。



いかがでしたか。水墨画は風流を解する人々が集まり、日本独特の文化が洗練されていく時代の中で、発展していった絵画表現なのだということが歴史を通して分かります。己を見つめるため、相手をもてなすため、さまざまな思いで作られた数々の水墨画はきっと皆様に伝わるものがあると思います。ぜひ関連書籍でもその独特な世界観をお楽しみ下さい。

参考文献

『茶道・香道・華道と水墨画』 中村修也/監修 淡交社 2006年 702.1 ち

著名な水墨画、禅画の画家たち



雪舟

おそらく「水墨画家」と言われたとき、真っ先に思い浮かぶのが雪舟ではないでしょうか。

雪舟は室町時代後期に活躍した水墨画家、禅僧です。中国画を基盤に、独自の表現を用いて、日本の水墨画を大成させました。

雪舟は1420年（応永27年）、備中赤浜（現在の岡山県総社市）に生まれました。

幼くして宝福寺にて出家します。この頃の有名な逸話が残されています。絵を描いてばかりで修行しない雪舟は、お師匠さんに叱られてしまいます。お師匠さんは雪舟を仏堂の柱にくくりつけて反省を促します。泣いていた雪舟は床に落ちた涙を足の指につけ、床にねずみを描きます。そのねずみの見事さにお師匠さんは雪舟に絵を描くことを許した、と言われていました。

上洛後相国寺に入り禅僧として修業する傍ら、画を周文に学びました。その後、周防の大内氏のもとで研鑽を重ねます。時には、大内氏による遣明船に陪乗し、中国画を実地に学びました。

代表作に「四季山水図（山水長巻）」「秋冬山水図」などがあります。

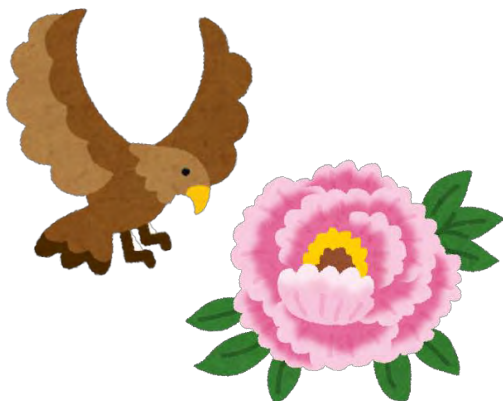
白隠

白隠慧鶴は臨済宗中興の祖と言われる江戸時代中期の禅僧です。仙厓とともに、近世禅画の双璧と言える存在です。近年禅が注目されるのに伴って、その名前を目にすることも多くなってきたのではないのでしょうか。

白隠は1686年（貞享2年）駿河国原宿（現在の静岡県沼津市原）に生まれました。幼名は岩次郎。15歳で出家し、慧鶴を名乗ります。その後、諸国を行脚し修行を重ねました。1708年（宝永5年）信濃山・正受庵の道鏡慧端から心印を授与され、臨済宗正系の法統を継承します。さらに修行を積み、白幽より「内観の秘法」を授かりました。

故郷駿河に戻り、松蔭寺の住職となります。民衆の教化に努めた白隠は、衰退していた臨済宗を復興しました。

白隠は禅の教えを示した数多くの絵を描いたことでも有名で、その総数は1万点以上あるのではないかとされています。白隠の芸術は、天衣無縫、細部にこだわらない大胆で力強い筆致を駆使して、見る者を惹きつけます。



参考資料

『万有百科大事典 2 美術』 小学館 1977年 031ページ

水墨画を描いてみよう！

ここまで水墨画の画家、歴史、禅との関係などを見てきました。

実は、水墨画は身近な道具ですぐに描けるとてもとつきやすい絵画なのです。

年賀状などの季節の挨拶に、墨で絵をしたためてみてはいかがでしょうか？

水墨画の道具

水墨画や書の世界では墨・筆・硯・紙を「文房四宝」といいます。

親しみや思いやる心を持って道具を使いましょう。

本格的な道具がなくても100円ショップで基本的な道具揃えることができます。

- ・墨汁
- ・中筆、小筆（筆ペンに墨汁をつけてもいい）
- ・硯は小皿などで代用できます
- ・筆洗い用の小皿など ・天ぷら色紙や紙製コースター
- ・下敷き用に工作用フェルトなど

絵を描く時に大切なこと

せっかくだから、上手に描きたいと思う気持ちはわかります。

けれど、実はこの「上手く描きたい」という気持ちが邪魔をして、その欲が絵に出てしまうのです。

絵を描く時に大切なこと。それは

「上手く描こうと思わないこと」

形がいびつでも、モデルにした物に似ていなくてもいいのです。

自分の素直な気持ちで表現した絵を描くということが、水墨画の世界では特に大切とされています。

大切な方に贈る絵は、やはり美しい気持ちで描いたものにしたいですね。

まずはゆったりとした気持ちで円を描いてみましょう。

松竹梅や動物、お地蔵様や仏様などのモチーフも喜ばれます。

絵が好きな方は風景画に挑戦してみてもいいかもしれません。

ぜひ、あなただけのとっておきの絵を描いてくださいね。

参考資料

「にわせんきゅうのだれでも描けるお地蔵さま」にわせんきゅう/著 エフエー出版 2008年 724.1ニ

「ブチすいぼく」小林東雲/著 廣済堂出版 2007年 724.1コ

展示図書リスト

書名	著者	出版者	出版年	分類記号
禪に学ぶ台所しごと	小川奈々/著	リベラル社	2016	596.9オ
お坊さんが教えるところが整う掃除の本	松本圭介/著	ティスカヴァー・トゥエンティワン	2011	597.9マ
共生(ともいき)のデザイン	柘野俊明/著	フィルムアート社	2011	629.2マ
見て感じるかわいい禅画白隠と仙厓	内田啓一/監修	三才ブックス	2016	721.7ハ
白隠	芳澤勝弘/著	KADOKAWA	2016	721.7ハ
人生は一本の線	篠田桃紅/著	幻冬舎	2016	721.9シ
フキすいぼく	小林東雲/著	廣済堂出版	2007	724.1コ
初心者のための水墨画入門 新版	塩澤玉聖/指導	主婦の友社	2015	724.1シ
にわぜんきゅうのだれでも描けるお地蔵さま	にわぜんきゅう/著	エフエー出版	2008	724.1ニ
白隠ものがたり 新版	おおいみつる/著	春秋社	2015	913.6オオ
墨いろ	篠田桃紅/著	PHP エディタース・グループ	2016	914.6シ/

禅と水墨画について調べてみよう！

今回ご紹介した他にも禅と水墨画に関する図書はたくさんあります。また、図書のほかに、雑誌記事、新聞などでも調べられます。いろいろな情報源を使って、調べてみましょう。

1. キーワードを使って調べよう

次のキーワードを参考にして調べよう。

禅	仏教	鎌倉時代美術	書道	水墨画	日本画
墨絵	絵画	絵画技法	山水画	書家	襖絵

2. 基本的な情報源を使って調べよう

辞書・事典類を使って、テーマについての基本的な事柄を押さえよう。

書名	請求記号	所蔵館
原色図典日本美術史年表	702.1	本町・中央
日本美術館	702.1	本町・中央・野方・江古田・東中野 鷺宮・上高田・南台
日本美術図解事典	702.1	本町

3. 図書を探そう

図書館では、関連分野ごとに図書が並んでいる。[テーマの棚]を実際に見て、図書を探そう。

分野	請求記号	分野	請求記号	分野	請求記号
日本画	721	水墨画	724. 1	禅	188. 8

図書館のホームページやOPACを使って、図書を探そう。



〔中野区内に図書があるか〕

●中野区立図書館ホームページを使って調べよう。

→ <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/index.asp>

〔東京都内に図書があるか〕

●東京都立図書館のホームページを使って調べよう。

→ <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

〔国内に図書があるか〕

●国立国会図書館のホームページを使って調べよう。

→ <http://www.ndl.go.jp/>

4. 雑誌・新聞記事を探そう

●中央図書館参考室の雑誌新聞記事索引データベースを使って調べよう

日経テレコン21	1975年からの日経4紙(経済・産業・金融・流通)の新聞全文や企業情報などが検索可能。
聞蔵IIビジュアル	朝日新聞のほか、知恵蔵・AERAなどが検索可能。
MAGAZINE PLUS	雑誌記事や論文情報検索が可能。
WHO PLUS	歴史上の人物から存命中の人物について検索可能。
官報情報検索サービス	1947年から当日までの官報が検索可能。
D1-Law.com	判例などの法律情報が検索可能。

5. 関連機関を使って調べよう

● 東京国立博物館

東京都台東区上野公園13-9 TEL. 03-5777-8600

日本の総合的な博物館として、東洋諸地域にわたる文化財を収集、保存し、一般公開している施設です。重要文化財や国宝を含め11万6000件以上の考古遺物を収蔵しています。

水墨画では雪舟の「秋冬山水図」や長谷川等伯の「松林図屏風」などを所蔵しています。

● 根津美術館

東京都港区南青山6-5-1 TEL. 03-3400-2536

実業家根津嘉一郎によって収集された東洋の古美術品のコレクションを保存し、展示しています。7000件以上の収蔵物には、国宝、重要文化財、重要美術品もふくまれています。

水墨画では、雪舟を尊敬した雪村の「龍虎図」の他、多くの作品を所蔵しています。

本町図書館からのお知らせ



本町図書館個性づくり展示「墨の芸術一禅と水墨画一」はお楽しみいただけましたでしょうか。これからもみなさまの身近にある、お役に立つ図書館、新しい発見のある図書館を目指して、スタッフ一同取り組んでまいります。



☆おはなし会☆

毎週土曜日 11:00~11:30

第4水曜日 15:30~16:00

児童室にて開催中！

第4土曜日は乳幼児向けの
「おひざでだっこのおはなし会」

☆個性づくり展示☆

下記の個性づくりの本は展示しています。

第三十四・世界の遺産

第三十一回・フラジル

第三十二回・日本の詩歌

第三十三回・吹奏楽

第一回~第二十九回の
個性づくりの本は
一般書架にあります。

児童コーナー

冬の子ども会

平成29年2月4日(土)

11:00~12:00



☆1月・2月の休館日のご案内☆

<1月>

12月29日(木)~1月3日(火) 年末年始のため、休館

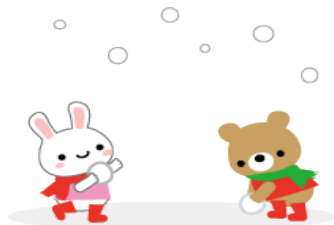
10日(火)

27日(金)・館内整理日

<2月>

13日(月)

24日(金)・館内整理日



「本町ほのほのだよ」
第35号は2月25日
発行予定です。